

ゆのまえ 議会だより



No. 56

令和8年
11月1日発行

「住民に見える議会」

「住民が参加しやすい議会」

「議会力・議員力の向上」を実現する



動画で見る

議会とまちのこと



①教えてゆっくん
決算定例会って何？



②まちづくり3択クイズ
11世帯？これ何の数字？

議会をもっと身近に



P2 特集 伝わる議会広報へ

P4 本会議 にぎわいと仕事に投資

P8 一般質問 4人が執行部の考えを質す

P13 全員協議会 中学校の設備と湯楽里の経営を協議

P14 議員派遣 国道219号整備の要望活動

P16 委員会 地区の活動をどう続けるか

P18 議会の窓 国土交通大臣へ初の直接要望

P19 一部事務組合 あさぎり町に出動拠点を新設

P20 住民の声 議会の情報発信をどう感じていますか？

今号のイラスト

緑豊かな湯前町の風景に、紙面・動画・SNSを表すアイコンを乗せた風が広がります。議会の情報を町民の皆さまへ届け、議会をもっと身近に感じていただきたいという思いを込めました。

特集(2ページ)につづく・・・

会 広 報 へ

広報常任委員会の次なる展開

議会だよりとショート動画を連携し、より分かりやすく、より身近な議会広報を目指しています。

あなたの声が
まちの未来をつくる

1 動画で議会をもっと身近に！

議会だよりと動画を連携！

議会だよりに掲載したQRコードから動画を視聴できます。

紙面と映像の両方で議会の情報を分かりやすく伝えます。



2 AIを活用して、もっと分かりやすく！



難しい内容を
分かりやすく整理



親しみやすい
デザインで伝える



短く分かりやすく
伝わる動画に

AIで伝わる
議会広報へ！



※AIの出力はそのまま使わず、
議案書や会議録などの
原資料と照合しています。

3 1冊を通して、つながる紙面づくり！

表紙・特集・裏表紙(住民の声)を共通テーマでつなぎ、図解や写真を用いて議会活動を視覚的に伝えています。記事の構成から写真・図解の配置まで、広報委員が主体となって企画しています。



正確な情報を届けるために

掲載内容は、複数の目で確認し、正確性と議会広報としての適切性を確保しています。



つながる。
ひろがる。
みんなのまちの未来へ



伝わる 議

4 【新】議会定例会を事前にお知らせ！

定例会の開催日程や見どころを、SNS・ホームページなどを活用して、事前に広くお知らせします。より多くの皆さまに議会へ関心を持っていただき、傍聴や議会だよりを読むきっかけとなるよう、新たに取り組めます。



5 【新】あなたの声を、これからの議会広報へ！

令和9年度に住民アンケートを実施予定です。いただいたご意見を今後の紙面や情報発信などの改善に生かします。

アンケートでお聞きする主な質問（例）



6 全国・県から学び、さらに改善！

■全国広報研修会

今年度は、吉田議員、西議員、椎葉議員、事務局の4人で参加。住民に伝わる広報デザインや、読みたくなる紙面づくりを学びました。



■コンクールにも挑戦

今年度は、全国と県の両コンクールにエントリー。過去には全国で奨励賞、県で特選を受賞しました。



7 これからの課題

- 1 **マニュアル** 手順や役割分担の標準化
- 2 **他自治体の議会だよりからの引用**
- 3 **これまでの議会だよりの見直し**
- 4 **第三者評価の活用**

皆さんに届く議会広報を目指して

議会だよりや動画を通じて、これからも分かりやすく、親しみやすい議会広報づくりに取り組みます。

にぎわいと仕事に投資 令和7年度決算認定

本会議

一般会計の1年を数字
で見る

9月定例会は、8日から18日まで11日間の日程で開かれました。議員4人が一般質問を行い、令和8年度補正予算や条例改正、決算認定などを審議しました。また、7月14日に臨時議会の開いています。

令和7年度は、町税や地方交付税、国からの支出金が前年度より増えたよ。県からの支出金や町債なども財源にして、災害復旧や湯前駅レールウイングの再整備、サテライトオフィスの整備を進めたんだ。サテライトオフィスでは3社と立地協定を結んだよ。暮らしを支え、地域のにぎわいや仕事につながるための投資が進んだ一年だったね。



歳入

54億201万円

前年度比 +3.7%

歳出

51億705万円

前年度比 +4.9%

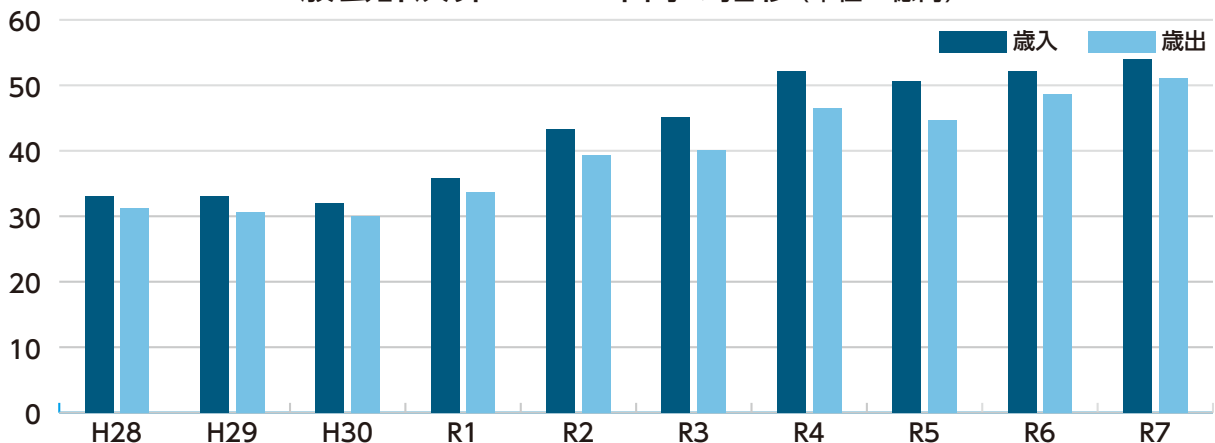
実質収支

2億4324万円

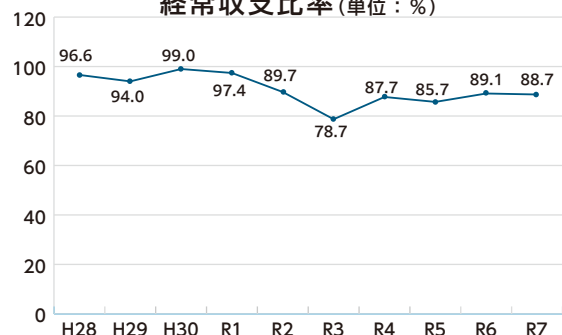
前年度は2億4599万円

※歳入と歳出の差額から、翌年度に繰り越す事業に使う約5172万円を除いた額が、実質収支です。

一般会計決算 10年間の推移 (単位：億円)



経常収支比率 (単位：%)



経常収支比率は、町の財政にどれくらい「ゆとり」があるかを見る数字だよ。低いほど自由に使えるお金に余裕があって、町村では70〜80%程度が一つの目安とされているよ。令和7年度は88.7%で、前年度より0.4ポイント下がったけれど、目安を上回る状態が続いているよ。これからも一緒に見守っていきましょう。





▲ショート動画

町のお金、どこが増えて どこが減ったか 前年度と主な費目を比較



令和7年度は、国から入るお金が増え、商工や災害復旧に使ったお金も増えたよ。町税や地方交付税はどう変わったかな？ 前年度と比べながら、町のお金の流れを見てみよう。

国からの支出金は、住宅や街なみ整備への補助金などが増えたよ。「その他」が減ったのは、前年度からの繰越金が多くなった影響が大きいんだ。町債は町が借りたお金、繰入金は基金や特別会計から移したお金だよ。



商工費と災害復旧費が増えたよ。湯前駅レールウイングやサテライトオフィスの整備、道路・林道の復旧が進んだんだ。総務費が減少したのは、前年度に基金への積み立てや庁舎屋根の工事費が多かったことも影響しているよ。



歳入の主な内訳

歳入総額 54 億 200 万円 前年度より 1 億 9300 万円増

区 分	金 額	前年度比
地方交付税	19 億 8400 万円	7600 万円増
国庫支出金	9 億 7000 万円	3 億 700 万円増
県支出金	5 億 9800 万円	500 万円増
町債	5 億 6400 万円	4400 万円増
繰入金	3 億 1000 万円	9700 万円増
町税	2 億 9100 万円	1400 万円増
その他	6 億 8600 万円	3 億 4900 万円減

(注) 金額は、100万円単位で表示

歳出の主な内訳

歳出総額 51 億 700 万円 前年度より 2 億 3900 万円増

区 分	金 額	前年度比
総務費	11 億 1100 万円	2 億 7100 万円減
民生費	9 億 9600 万円	2900 万円増
災害復旧費	6 億 3000 万円	1 億 7300 万円増
商工費	5 億 2800 万円	2 億 6300 万円増
教育費	4 億 400 万円	3500 万円減
土木費	3 億 7400 万円	2800 万円減
公債費	3 億 3500 万円	3000 万円増
その他	7 億 2900 万円	7700 万円増

補正予算

物価高騰の中、設備投資を後押し

湯前町物価高騰対応商工業振興補助金

01 だれを



町内の商工業者
個人事業主・法人

02 何に



設備投資・機械導入
省力化や効率化へ

03 どれだけ



対象経費の4分の3
上限100万円

今回の補正予算

130万1000円を増額

補助の見込み

15事業者 → 20事業者

*交付要件や対象経費は、町の交付要綱・審査に基づきます。

商工業者への補助を増額

物価高騰対応商工業振興補助金

130万1000円

事業者の生産性向上など、経営改善を支える補助金を増額しました。当初は15事業者を見込んでいましたが、申請額が増加し予算が不足するため、20事業者分まで対応できるよう増額しました。

増額分の全額に、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を充てます。

防災拠点の整備費を増額

防災拠点等整備工事費

2000万円

庁舎の災害対策室と多目的トイレの整備に向け、工事費を増額しました。資材費や労務費の上昇、工事内容の変更などによるものです。

増額分には「緊急防災・減災事業債」を充てる予定です。町の借入金ですが、返済額の7割は後年度の地方交付税で措置されます。

小学校に雨庭を整備

雨庭整備工事210万円

流域治水の取り組みとして、小学校に雨庭を整備する工事費を計上しました。

雨庭は雨水を一時的に受け止め、地面にしみ込ませて河川などへ流れ出る量を減らす取り組みです。

主な財源は、県の球磨川水系防災・減災ソフト対策等交付金です。補助対象の3分の2の額、133万3000円が補助されます。



にぎわいへの支援

イベント実行委員会補助金 285万円

くま川鉄道の全線運行再開に合わせたイベントと、「夏目友人帳」関連イベントの内容充実に向け、イベント実行委員会への補助金を増額しました。

住宅の新設・解体に合わせ、管理条例を改正

町が管理する住宅の現状に合わせ、2つの条例の住宅一覧を改めました。

新設



地域優良賃貸住宅
駅前団地7号棟

+1戸

新築した1戸を一覧に追加

解体



一般住宅
下牧原住宅

-2戸

解体済みの2戸を一覧から削除

駅前団地は1戸建て1棟、下牧原住宅は1戸建て2棟。

条例改正

湯前町地域優良賃貸住宅管理条例の一部を改正
湯前町一般住宅管理条例の一部を改正

その他の議案

工事請負契約の締結

牧原地区分譲地造成工事

契約の方法は、指名競争入札、契約の金額は5313万円、契約の相手方は「肥後環境(株)」です。

湯前町役場災害対策室等整備工事

契約の方法は、指名競争入札、契約の金額は8426万円、契約の相手方は「(有)高木工務店」です。

一般住宅上里団地1号棟建設工事

契約の方法は、指名競争入札、契約の金額は5497万8000円、契約の相手方は「(株)力一建設」です。

R2災補林林道宮の谷線(3号箇所)災害復旧工事(2工区)

契約の方法は、指名競争入札、契約の金額は7700万円、契約の相手方は「(有)ふじもと」です。

湯前町選挙管理委員・補充員の選挙

議長による指名推選により、選挙管理委員4名と補充員4名を全会一致で承認しました。
任期は4年間です。

選挙管理委員 ※敬称略

東 振作 (下村) 再
永濱 洋 (浜川) 新
堤田 真由美 (下染田) 新
稲森 一彦 (下里) 新

選挙管理委員補充員

愛甲 正之 (田上) 再
近藤 千秋 (中里2) 再
兼田 浩一郎 (上里2) 新
児玉 彩 (中里1) 再

議案審議の賛否一覧 [議案18件 認定6件 報告2件 (7月~9月)]

議 案	田山 幸平	吉田 精二	西 靖邦	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	味岡 恭	倉本 豊	山下 力	金子 光喜	審議結果 (賛成：反対)
7月臨時会 議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9：0)
9月定例会 議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9：0)
[認定] 令和7年度一般会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定(9：0)
[認定] 令和7年度特別会計の決算認定	○	○	○	○	※	○	○	○	○	-	認定(8：0)
[認定] 令和7年度水道・下水道事業会計	○	○	○	○	※	○	○	○	○	-	可決・認定(8：0)

○：賛成 ×：反対 -：採決に加わりません
※：特別会計と水道・下水道事業会計の決算認定は、慣例により副議長が議長を務めます。

議案審議
賛否一覧

一般質問

4人が執行部の考えを質す

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
西 靖 邦	①人口減少社会に対応した持続可能な地域づくり	9
椎 葉 弘 樹	①スポーツ災害見舞金制度とスポーツ災害共済基金の抜本的見直し	10
田 山 幸 平	①地震災害に備えた避難生活支援体制 ②災害関連死認定の審査体制	11
吉 田 精 二	①湯楽里入浴券 ②熊本地震による湯楽里の風評被害対策	12

特別企画 前回一般質問

YouTube視聴回数ランキング

一般質問への町民の関心をより高めるため、YouTube動画の視聴回数ランキングを公表します。議員のやる気につながりますので、ぜひ動画をご覧ください。

議 員 名	6月一般質問
西 靖邦	800
椎葉 弘樹	729
遠坂 道太	94

(令和8年10月1日時点の視聴回数)

一般質問の YouTube動画配信

一般質問は、YouTubeで動画配信を行っています。この動画は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。「いいね」や「チャンネル登録」をよろしくお願いします。



© YouTube 動画(「湯前町オフィシャル」で検索)

前回一般質問のYouTubeサムネイル

湯前町議会
令和8年第5回定例会 #03
一般質問

建 築系公共施設整備に
おける議会への説明の
在り方について

西 靖邦 議員



湯前町議会
令和8年第5回定例会 #02
一般質問

町 民の誇りと関係人口を
育む未来の森づくりについて

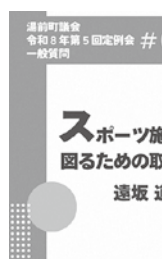
椎葉 弘樹 議員



湯前町議会
令和8年第5回定例会 #01
一般質問

ス ポーツ施設の利用推進を
図るための取組について

遠坂 道太 議員



問 人口減少社会に対応した 持続可能な地域づくり

答 人口減少対策を総合的に 推進

議員 人口減少対策として
行ってきた施策をどのように
評価・検証しているか。

課長 総合戦略にKPIを設定し
毎年、目標値と実績を
確認して各施策を評価・検証
している。町政推進プロジェクト
チームで実績をまとめ、
振興計画策定審議会でも外部の
意見も踏まえ、事業の継続、
改善、見直しなどを検討して

いる。

議員 進学・就職前から若者
との関係を維持し、若者に選
ばれる町づくりを進めていく
考えはないか。

課長 中学生から地域企業や
仕事を知る機会を設けてい
る。今後は高校生と地元企業
との接点づくりや、町外へ進
学・就職した若者への情報発
信を進め、Uターンにつなげ
ていく。

町長 安心して暮らせ、地域
で働き将来像を描ける仕事の
場が重要。サテライトオフィ
スへの企業進出と町内事業所
との連携を進め、地域資源を
生かした産業振興と雇用創出
につなげていく。

議員 関係人口の創出・拡
大に向けた戦略強化をどの
ように行うのか。

課長 訪問をきっかけに再訪
や地域との交流を通じ、継続
的に関わる方を増やすことが
重要。観光、イベント、SNS
による情報発信に加え、ふ
るさと納税では農業体験や地
域交流など、本町ならではの
「体験型」の返礼品を研究し
ていく。

議員 人口減少対策を推進す
るため、官民協働による継続
的な推進体制を構築する考え
はないか。

町長 人口減少対策は行政だ
けで解決できないため、町民
や各種団体と課題や目標を共
有し、連携して取り組むこと
が重要。各施策を横断的につ
なぎ、継続的に展開していく。
課長 子育て、学校、産業な
ど各分野で協議会を設けてい
る。振興計画策定審議会では、
各種団体とKPIを共有
している。

湯前町の人口の推移



出典：総務省「国勢調査」、黒本数/R7は速報値

議員の

つばき

「人口を増やす」だけでなく、「湯前と関わる人を増やす」ことが、これからの人口減少対策につながるのではないかと。





椎葉 弘樹 議員

▶動画で見る↓



問 スポーツ災害の見舞金制度と共済基金の抜本的見直し

答 制度と基金を分けて関係団体の意見を聞き検討

議員 スポーツ災害見舞金制度について、他の補償制度との役割分担や行政事務の負担等を検証し、制度の廃止を含め抜本的に見直す考えはないか。

課長 令和7年度は、スポーツ災害委員会（以降、委員会）を開催せず、支給案件の詳細も報告できていない。スポーツ協会総会には、監査前の資料を提示した。町の制度と公民館総合補償制度を詳しく比較したことはない。診断書発行手数料は町の制度でしか補

しての有効活用を含め見直す考えはないか。

課長 共済基金は町の正式な基金ではなく、委員会の管理資金で、町の補助金や体育協会、各分館の拠出金による。平成27年度に共済会から委員会へ予算と基金を移行した。約1700万円を維持する明確な算定根拠はない。

町長 制度の維持と約1700万円の保有は、資金の成り立ちから慎重に扱う必要がある。制度の目的や支給実績、必要額を検証し、委員会などの意見を聞き、全額保有の必要性や資金の整理・活用方針を決めたい。町だけでは判断できない。

スポーツ災害見舞金制度 なぜ見直し？

制度見直しから10年目

① これまで



② 見直しの論点



③ 見直して目指すこと



制度と基金を分けて検討

議員の

つぶやき

伝統ある制度を今一度検証し、速やかな支給や事務負担の軽減、基金の有効活用につなげてほしい。



田山 幸平 議員

▶動画で見る↓



議員 在宅避難者など発災後に支援が必要となった住民をどう把握し、必要な支援や物資を確実に届けるための仕組みをどう備えるのか。

問 地震災害に備えた避難生活支援体制

答 町全体での対応力向上に努める

課長 自主防災組織や消防団が安否や避難先を調査し、災害対策本部に報告する。物資を受け取りに行けない人には、地域の人や応援職員、住民ボランティアによる対応を想定している。

議員 備蓄拠点が使えない場合や職員参集が限られる場合に、住民支援を継続するための物資・人員・受援体制をどう確保するのか。

課長 備蓄倉庫が使えない場合は国のプッシュ型支援を受け、レールウイングや体育館などでも管理する。職員が不足すれば町村会や県に応援職員を要請する。

議員 避難生活の長期化で変化するニーズをどう把握し、町の備蓄、協定による調達、その時々追加調達にどう反映するのか。

課長 被災自治体の対応を確認し、マニュアルや必要な物資のリストを研究する。

町長 大規模災害時に計画通り対応できるか、不安要素もある。防災監に計画と訓練の改善を指示している。引き続

き訓練を実施し、職員の対応力向上や、自主防災組織と連携した町全体での対応力の向上に努めたい。



問 災害関連死認定の審査体制

答 審査会に関する規定を早めに整備

議員 災害と死亡の因果関係が判断しにくい災害関連死の申請があつた場合、誰がどのような手順で審査・認定するのか。

課長 遺族の申請を受けて町が基礎調査を行う。因果関係の判断が困難な場合、県に助言を求め、委員の人選や運営支援を受けて審査会を開く。

議員 専門性と客観性を確保し、遺族への認定・支給を遅らせないため、平時から審査体制を整える必要性をどう認識しているのか。

町長 審査会に関する規定（条例など）がないとのことだが、審査には客観性・専門性が求められるため、早めに整備したい。

議員のつぶやき

災害時の命と生活を守るため、行政の体制づくりに加え、地域での助け合いや一人一人の日頃の備えを大切にしたい。



吉田 精二 議員

問 湯楽里入浴券

答 無料送迎や周知対策で利用促進を図る

▶動画で見る↓



議員 物価高騰対応事業として町民1人当たり5枚の入浴券が配布されているが、なるべく多くの町民に利用してもらうための施策を考えているか。

課長 この入浴券は、原油価格及び物価高騰により、多大な影響を受けている町民の皆さまに心身をリフレッシュしてもらう、湯楽里の事業継続と経営の安定を図るため、3330人に1万6650枚を配布した。8月末で2015枚の利用で、利用率は12.1%となっている。夏場は利用が少ない傾向にある

ので、様子を見ながら今後の利用促進を検討していきたい。

町長 交通手段のない入浴券利用者は、事前予約による無料送迎のキャンペーンを行っている。新聞折込や旬報でお知らせしているので、これから利用が増えてくるのではないかと。

問 熊本地震による湯楽里の風評被害対策

答 国・県と連携した地域全体の支援策を検討

議員 熊本地震による影響はでているのか。

課長 商工会からの町内事業者の被害状況は、飲食業を中心に数百万円の被害が出ている模様。湯楽里全体では、8月末現在の速報値で前年比201件、人数で877人、588万5000円落ち込んでいる。

議員 風評被害等に対して、町からの支援は考えていないのか。

町長 町としては、独自の支援は考えていない。熊本県の「プレミアム付き商品券」を利用できる登録店舗の拡大に向け、働きかけている。今後、国・県から同様の支援策が示された場合は、飲食店への支援や、地域全体の需要喚起につながる支援策や取り組みを検討していく。

湯楽里 8月の前年同月比

影響の大きい2部門の状況

宿泊

↓ 減少

売上額
△77万円

利用者数
△105人

レストラン

↓ 減少

売上額
△231万円

利用者数
△402人

議員の

つぶき

地震の風評被害を受けた湯楽里や町内の観光・飲食業。町には国・県の支援策を把握し、迅速に対応してほしい。

全員協議会

6月24日、7月31日、8月24日、9月10日

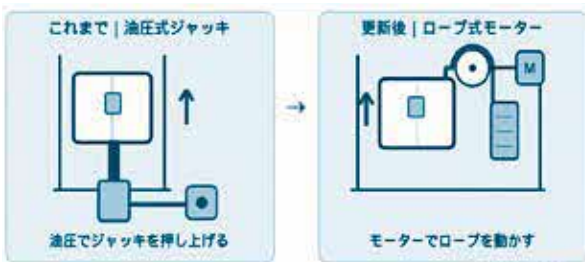
主な協議事項

中学校の設備と湯楽里の経営を協議

7月31日 行政から2件の説明を受け、今後の対応を協議しました。

1 中学校エレベーター更新

計画段階



平成9年に設置したエレベーターは、故障時の交換部品の確保が難しくなる見込みです。定期検査では、現行の安全基準との違いも指摘されています。階段の利用が難しい生徒などの移動を支援するため、町は更新を検討しています。

概算更新費用 4700万円

財源案：国1/3(学校施設環境改善交付金)、町2/3(過疎債を活用予定)

予定：令和8年度に調査設計・国へ交付金を要望 → 令和9年度に更新工事

2 湯楽里の経営安定化

支援は協議中

宿泊・温泉などの利用が十分に回復しない一方、原材料費や燃料費、人件費などが増加し、赤字が積み重なっています。議会は、町が検討する経営安定化のための補助金と、その財源に「ふるさと応援基金」の産業振興分を充てる案の説明を受け、意見を交わしました。



累積赤字
令和7年度末

8532万6000円

純資産
令和7年度末

1467万4000円

※純資産は、会社の資産から負債を差し引いた額です。手元の現金額ではありません。

主な論点

- ①経営安定化に向けた支援の必要性
- ②ふるさと応援基金（産業振興分）の活用
- ③経営改善計画の内容と補助金交付の条件

町は今後、内容を整理したうえで、必要な予算案を議会に提案する方針です。

議員派遣

三市町村議会国道整備促進合同協議会

国道219号整備の要望活動

上里・野中田工区歩道の早期整備など要望

三市町村議会国道整備促進合同協議会は、7月7日に熊本県・宮崎県に対し、国道219号の整備促進に向けた要望活動を行いました。この活動は、西米良村・西都市・湯前町の三市町村議会が連携し、毎年継続して実施しているものです。

■熊本県・宮崎県への要望活動と総会

要 望 先	熊本県	宮崎県
	県土木部	
	・道路都市局長 大和 勇紀 ・道路保全課長 橋口 英介	・副知事 佐藤 弘之 ・県議会議長 外山 衛 ・県土整備部長 中原 学
	球磨地域振興局 ・土木部長 野間 卓志	

熊本県への要望活動では、「湯前町上里・野中田工区歩道の早期整備促進と予算確保」に関する要望書を提出しました。あわせて、熊本県議会の松田三郎議員、緒方勇二議員から応援の挨拶をいただきました。

同日17時から、宮崎市のホテルマリックスにおいて本協議会の第59回総会を開催しました。令和7年度の事業経過と決算、令和8年度の事業計画と収支予算(案)の審議を行い、全会一致で可決しました。



熊本県への要望



宮崎県への要望

西米良村議会との情報交換会

7月1日 | 全議員参加

町内施設を巡り交流を深める

7月1日、西米良村議会との情報交換会が湯前町で開かれ、湯前町議会の全議員が参加しました。庁舎での懇談後、町内の主要施設を視察し、両議会の交流を深めました。

1 庁舎での懇談



2 レールウイング屋根付き広場の視察



3 サテライトオフィスの視察



4 まんが美術館の視察



5 B&G海洋センタープールの視察



委員会

総務厚生文教常任委員会

8月6日、9月11日

委員長	遠坂 道太
副委員長	田山 幸平
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

次の所管事務を調査しました。

◎集落の地域力の現状

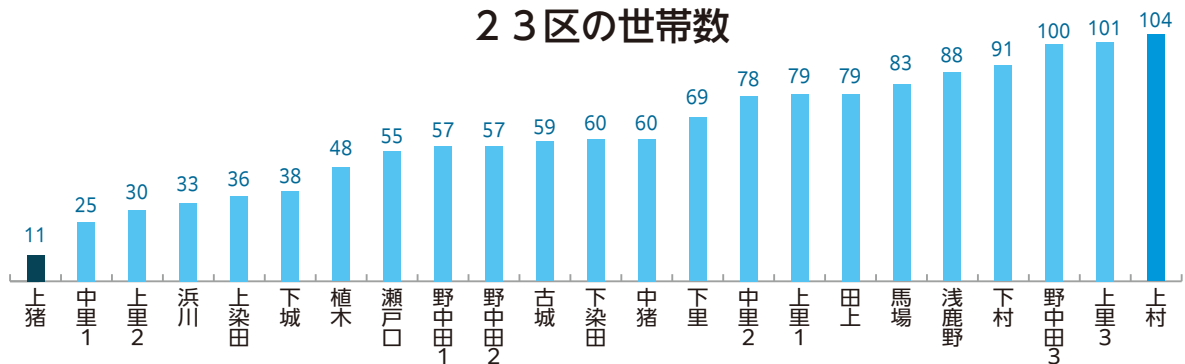
◎子ども・子育て支援対策

地区の活動をどう続けるか

23区の人口・世帯数と地域活動の状況を調査

町内23区の人口は、令和2年度末の3627人から令和7年度末の3272人へ、5年間で355人減りました。人口が減ったのは21区です。令和8年3月末の住民基本台帳による世帯数は、地区により11～104世帯と幅があり、活動を支える条件も一様ではありません。

23区の世帯数



※令和8年3月31日現在 (単位: 世帯)

委員会では、子ども会、老人クラブ、体育行事などの参加状況も示されました。人口の数字だけでは、役員の引き受け手や、行事・回覧・清掃にかかる負担は見えてきません。地区ごとの実情と住民の考えを踏まえ、活動を続けるために必要な支えを確かめていくことが大切です。

子育てを支える町の取り組み

妊娠・出産から一時預かり、学童保育、相談・訪問まで

令和7年度決算をもとに、妊娠・出産から一時預かりや保育園での支援、学童保育、相談・訪問まで、町の子育て支援の取り組みを確認しました。給付や助成だけでなく、子どもや家庭を支える相談体制も整えられています。

妊娠・出産 出生祝い金は10名に各15万円を支給。妊婦のための支援給付金は、妊娠届出時と出産後を合わせて計105万円を支給しました。産後ケアや妊婦健診などの支援も行われています。	一時預かり・病児対応 一時預かり事業に約845万円。保育園で急に体調を崩した子どもに対応するため、職員を加配する病児保育事業に約840万円を支出し、延べ262人が利用しました。
学童保育 学童保育の運営費として約2016万円を補助。さらに、支援学級に在籍する児童を学童で受け入れるため、635万円を補助しました。	相談・訪問 令和7年3月に「湯前町こども家庭センター」を設置。母子保健と児童福祉が情報を共有し、連携して子どもや家庭を支援する体制を整えています。家事や子育てに不安や負担を抱える家庭への訪問支援や、乳児のいる家庭への訪問も行っています。

子どもや家庭の困り事はさまざまです。委員会では、給付や預かり、学童保育などの支援に加え、相談を受け、必要に応じて関係機関につなぐ体制についても確認しました。

企画経済建設常任委員会

8月6日、9月15日

委員長	西 靖邦
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、味岡 恭、椎葉 弘樹

次の所管事務を調査しました。

- ◎町道の維持管理状況
- ◎球磨畜産共進会

町道137路線をどう守るか

補修・除草・巡回の実績から維持管理を確認

町道の維持管理は、道路や側溝などの修繕、除草などの委託により行われています。職員による道路パトロールや住民からの情報提供により、迅速な応急対応につなげています。

■修繕料

※万円未満切り捨て

年度	決 算 額	内 容	件 数
R5	452 万円	土砂撤去、安全対策、舗装・側溝など	13
R6	205 万円	法面、舗装・側溝など	11
R7	254 万円	安全対策、舗装・側溝など	10

■委託料

年度	決 算 額	内 容	件 数
R5	225 万円	除草など 14 路線	20
R6	169 万円	除草など 13 路線	21
R7	183 万円	除草など 13 路線	21

肉用牛の改良と飼養技術の向上を目指して

第75回球磨畜産共進会を視察

会場では、個体審査や比較審査、展示講評などが行われ、肉用牛の改良や飼養技術の向上に熱心に取り組む生産者の姿が見られました。

■各部門出品頭数

肉用種牛の部	出品頭数
育成種牛 1 部	6
育成種牛 2 部	2
育成種牛 3 部	17
育成種牛 4 部	24
育成種牛 5 部	4
育成種牛 6 部	4

■湯前町からの出品者と成績

育成種牛 4 部	優秀賞	ちえひめ	石井 崇雄さん
育成種牛 5 部	優秀賞	さき	深水 大樹さん
育成種牛 6 部	優秀賞	のぞみ	本田 権六さん
		えな	

議会の窓

議長の窓

国土交通大臣への直接要望

令和8年度の三市町村議会による国道219号整備促進の要望活動が、8月19日～20日に国土交通省九州地方整備局(福岡市)と国土交通省(東京都)で行われました。湯前町からは、長谷町長、西委員長、そして私が参加しました。

この活動は約60年の歴史があり、今回、初めて国土交通大臣に直接要望することができました。地元選出の金子恭之国土交通大臣をはじめ、関係各位のご尽力により実現したものです。初めての大臣室での要望には、西都市・西米良村の首長・議長と共に臨みました。緊張感が漂うなか、充実した活動となりました。



金子国土交通大臣への直接要望が実現(国土交通省大臣室にて)

議会事務局の窓

主な議会スケジュール【9月20日～12月16日】

活 動 内 容	日 程(予 定)	対 応 者
くま川鉄道全線運行再開 湯前記念式典	9/20	全議員
郡議長会	9/24 10/15 11/5	金子
国道219号整備促進総決起大会	10/3 西都市	金子、西
子ども議会	10/5	全議員
球磨郡町村議会議員グラウンドゴルフ大会 及び交流会	10/6	全議員
熊本県町村議会議員研修会	10/8 益城町	全議員
上球磨正副議長会 西米良・椎葉村意見交換	10/9 椎葉村	金子、椎葉
上球磨正副議長会 研修会	10/16	全議員
臨時会	10/22	全議員
議会全員協議会	10/22 11/25	全議員
産業行政視察研修	未定	全議員
定例会	12/11～16	全議員

一部事務組合

上球磨消防組合議会

あさぎり町に出動拠点を新設

仮設あさぎり分署が10月1日から運用開始

令和8年10月1日から、あさぎり町役場第二庁舎内に日中の消防出動隊が配置されました。あさぎり町西部には、上球磨消防署からの現場到着に10分以上かかる地域もあり、出動拠点を設けることで現場到着時間の短縮や救命率の向上が期待されます。

運用時間	配置車両	配置人員
9時～16時50分 土日・祝日も運用	救急車・ポンプ車 各1台	職員5人 うち救急救命士2人

※夜間の災害出動は、これまでどおり上球磨消防署が対応します。

<消防議員 倉本>

公立多良木病院企業団議会

3事業のうち黒字は検診事業のみ

入院収益減や物価高騰が影響

令和7年度決算は、入院収益の減少に加え、人件費や材料費の上昇などの影響により、病院事業と介護老人保健施設事業「シルバーエイト」が赤字決算となりました。一方、総合検診センター事業「コスモ」は、受診者数が前年度より減少したものの、検診単価の改定により収益が増加し、黒字を確保しました。3事業全体では1億3070万円の純損失(赤字)となっています。

公立多良木病院3事業の決算額 令和7年度 ※万円未満切り捨て

区分	病院事業	老健事業	検診事業	3事業合計
収入	39億8544万円	6億5914万円	2億7553万円	49億2012万円
支出	40億8475万円	7億413万円	2億6193万円	50億5082万円
純利益	△9930万円	△4498万円	1359万円	△1億3070万円

<公立病院議員 西・吉田>

人吉球磨広域行政組合議会

決算審査を特別委員会へ付託

田山議員が副委員長に就任

令和7年度一般会計の決算審査は、8名で構成する決算特別委員会に付託されました。委員長に錦町選出の早田議員、副委員長に湯前町選出の田山議員が選ばれました。あわせて、令和8年度の補正予算も審議されました。

令和8年度補正予算
1億2026万3000円

主な内容

人件費、燃料価格の上昇に伴う各施設の燃料費、設備修繕費などを追加しました。

<広域行政議員 遠坂・田山>

年4回にわたりテーマを設定し、住民の皆さまからご意見をいただきます。

テーマ

議会の情報発信をどう感じていますか？

区長会会長

かめやま てつま
亀山 哲馬 さん
(野中田 2)

町議会の役割は、町民を代表して地域の重要事項を決定し、町長の行政運営を監視することです。また、町民の要望を受け、自らさまざまな政策を提言することもできます。ところが、福岡県議会のさまざまな問題や八代市新庁舎建設に関する贈収賄事件など、議会や行政に関わる問題が相次いで報じられています。繰り返し聞かされると、近くでも同様の事案があるのではと心配になります。湯前町議会では、YouTubeや議会だよりで、定例会の審議内容や議会活動の状況を分かりやすく知らせていただき、ありがたく思っています。広報誌の発行には相当な労力を必要としますが、YouTubeを見ることができない方のためにも、これからも頑張っ

て続けていきたいと思ひます。



しいば えいし
椎葉 英志 さん
(下染田)

議会だよりは、気になる見出しの記事を中心に読んでいます。忙しい中でも、文章が簡潔で、図解やイラストがあると内容をつかみやすく助かります。町の動きについては、議員さんと直接話す中で知ることも多く、そこから関心や知識が広がります。紙面で目にしたことが会話のきっかけにもなるので、これからも読みやすい紙面と、気軽に話せる機会を大切にしたいです。

「住民の声」のインタビューを依頼された際は、ご協力をお願いします。TEL 0966-43-4132

『議員、風刺や時代を読む』

漫画作品と議会のコラボ企画

この企画は、湯前町が取り組むマンガのまちづくりを、議会も積極的に応援する取り組みです。風刺漫画や時代を描写した風景画は、地方議会と密接に関わっており、政治の問題や社会の動きを批評的かつ啓発的に表現する重要な手法です。



「ふるさとの記」『人吉文化』に掲載 那須 良輔 氏
湯前線の開通当時を描いた那須良輔氏作品です

▶湯前線が開通すると、「汽車ごっこ」が子どもたちの間で大流行しました。両手を腰の高さぐらいに、汽車の車輪を連想して回しながら、大声で「ウォーン、シュツシュツ」と叫びながら駆け出します。

▶幼い那須良輔氏が、湯前線を走る汽車に憧れ、「汽車ごっこ」に夢中になった時代。汽車は、人や物を運ぶだけでなく、子どもたちの夢や地域の暮らしを乗せて走っていました。

▶令和2年7月豪雨による被災から6年余り。令和8年9月20日、くま川鉄道はついに全線で運行を再開しました。那須氏が記した幼い頃の思い出と重なるように、再び地域をつなぎ、人々の交流や暮らしを支える鉄道として、新たな一歩を踏み出しました。

(西)



◆ 広報常任委員会

私たちが編集しました。

委員長 田山 幸平
副委員長 椎葉 弘樹

委員 遠坂 道太
西 靖邦
吉田 精二

湯前町議会

検索

湯前町議会のホームページもご覧ください。

